

令和7年度 大石田町立大石田南小学校の経営方針

1 学校教育目標

心豊かでたくましく未来を創る子どもの育成

2 めざす子ども像

- (1) **み**ずから学ぶ子ども 【学力】
＜主体性 思考力・判断力・表現力＞
- (2) **な**かよくくらす子ども 【社会力】
＜多様性や個性の尊重 地域郷土愛＞
- (3) **み**んな元気な子ども 【人間力】
＜健康 粘り強さ＞

3 めざす学校像（児童会スローガンより）

「みんなで創る笑顔満開南小」
＜みんなで考え 進んで行動 喜びの共有 学力の育成＞

4 めざす教師像

「広い視野と高い志を持ち、学び続ける教師」
＜教育愛 向上心 責任と協働＞

5 学校経営方針（安心・安全 自尊感情 地尊感情）

- (1) 安心・安全が保たれ、教育効果を促進する環境づくりに努め、確かな学力を育む。
- (2) 深い児童理解と温かな学級経営を基盤にした指導方法や支援の在り方を探り、改善していく。
- (3) 地域の願いを取り入れた交流・体験活動を推進し、信頼関係と教育力のさらなる向上を図り、郷土愛を育む。
- (4) 職員個々のよさや強みを生かし、共に教育課題に取り組み、教育目標の具現化に努める。

6 経営の重点

- (1) 「主体的な学び」の充実（みずから学ぶ）
- (2) 「つながり」を大切にした教育の推進（なかよくくらす）
- (3) たくましく豊かな心の育成（みんな元気）

7 重点の具現化のために

(1)「主体的な学び」の充実を図るために

①学校生活全体を学びの場ととらえた教育活動の推進

- *子ども主体の学校行事創り。
- *想いを語る場の充実。
- *自由清掃の工夫と推進。

②校内研究の推進

- *主題「くらしとまなびを自ら創る子どもの育成」の5年間の継続研究と授業公開。
- *学級活動（3領域）の充実。
- *子どもが考える場や意思決定の場の意図的な設定と子どもの行動に対する価値づけ。

③道徳指導

- *特別の教科道徳の確実な実施と個別の成長の蓄積。
- *課題を自分事にする活動の工夫。
- *「考え、議論する道徳」と「考え、実践する特活」との明確な棲み分けによる指導。

④探究型学習の授業づくり

- *自分ごととなる課題の設定、教科や単元の本質にせまる指導の工夫、まとめ・振り返りの充実。
- *習得・活用・探究の過程、生徒指導3機能をバランスよく取り入れた単元・授業づくり。
- *授業とつながる家庭学習の工夫と基礎基本の確実な習得。
- *ICT活用による授業（一斉・個別・協働）づくりの充実。

⑤主体的な読書活動の工夫と推進

- *一人一人が楽しんで読書に取り組む環境づくりや家庭との連携。
- *児童委員会と連動する工夫した読書活動づくり。
- *情操を育む多様な読み聞かせ会や昔語り等の実施。

(2)「つながり」を大切にした教育を推進するために

①基盤としての学級経営

- *「学校文化創りの主役は子どもたち」の共通理解に立ち、自治力を育成し明るく活力ある学級を創る。
- *学級経営カリマネ表に基づいた1年間を見通した計画的な経営。
- *受容と共感に基づいた子どもへの対応と、傾聴的態度を基盤にした保護者との対応と連携。

②仲間や地域とつながる交流・体験活動の推進

- *学校運営協議会や地域学校協働本部との連携。
- *地域の教育資源を活用し、大石田の自然や産業、歴史への理解を深める体験・交流活動の充実。
- *集会や行事等での縦割り班活動によるかかわりあい。
- *学校だよりや各種たよりの定期的な発行や学校HP等による地域及び保護者への教育活動の発信。

③積極的な保小中連携

- * 2年後の3小学校統合を見据えた、小小での多様な交流活動の工夫。
- * 互いに尊重し協力し合おうとする心を育む小中合同(一貫的)活動や教育課程の工夫。
- * 保小の課題を共有し解決できるような、架け橋プログラムの作成と実施。

④教育支援・教育相談活動の充実

- * Q U調査やいじめアンケート、心のアンケートを活かした不登校や問題行動等の未然防止と早期発見、組織的対応の徹底。
- * 個別の指導計画・教育支援計画の作成と活用による切れ目ない教育支援。
- * 個々の現状把握と支援方針の共通理解、継続的な関係者(保護者)面談、ケース会議の実施。

(3) たくましく豊かな心を育成するために

①いのちの教育の推進

- * 「いのちの教育」構想図に基づいた実践。
- * 緊急時の対応マニュアルの徹底と防災訓練の実施。
- * 見守り隊との連携、校外子ども会や定期的なスクールバス乗車による登下校指導を実施した安全意識や判断力の向上。

②健康的な生活習慣づくり

- * 早寝早起き朝ご飯、南っ子家族会議とメディアコントロール等による基本的生活習慣の確立。
- * 学級活動②と関連付けた食育指導や保健学習の充実。
- * 感染症予防や熱中症予防等、子ども自ら健康や安全を意識できる環境づくり。

③教科体育を核とした体力・運動能力向上

- * できる喜びを味わい、元気いっぱい体を動かす子どもを育てる体育授業の実践。
- * めあてを持って運動し、体力・運動能力向上を図る取り組み。
- * 運動の日常化の取り組み、環境整備。

④校内外の積極的な生徒指導の充実

- * ワンフロア型委員会活動による、自分達で自分たちの生活をよりよく豊かにする体験。
- * 安全パトロールだよりに基づいた危険箇所の確認発信、予測指導。
- * 学童等関係各所と連携した迅速な対応指導。